

# 木津川市 クリーンセンター施設整備工事 【技術提案内容（概要版）】

『地域の安心・安全な環境を守るために、安定して高い環境保全・発電性能を發揮する、環境都市にふさわしいクリーンな施設を目指します。』

## 1. 全体配置・車両動線

■敷地を3つのゾーンに区分し、来場者が使いやすいレイアウトとします。



■来場者が安全に走行できるよう、車両動線の分離を図ります。



## 2. 景観デザイン

■自然豊かな里山風景との調和・つながりを演出します。



■ボリューム感を抑え、柔らかい印象を与えるデザインとします。



## 3. プラントの特徴

- 高度な自動燃焼制御や、豊富な稼働実績を有する信頼性の高い排ガス処理システムの導入により、法令より厳しい公害防止値を設定します。
- ごみを焼却した際に発生するエネルギーを、効率的に回収・利用する高効率発電システムを導入し、発電効率 12.6% を達成します。
- 施設から排出される最終処分量を削減するため、主灰及び飛灰の発生量を低減する、環境にやさしいシステムを導入します。
- 防災施設として、「一時避難所機能」「災害廃棄物の受入れ・処理機能」という支援機能を持ち、災害時にも地域の方々が安心できる施設とします。

〈本施設の公害防止値〉

項目	単位	公害防止値	法令規制値
ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.01	0.15
硫黄酸化物	ppm	30	—
塩化水素	ppm	50	430
窒素酸化物	ppm	50	250
ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.05	5
水銀	mg/m <sup>3</sup> N	0.05	—

※乾きガス、O<sub>2</sub>12%換算、1時間平均

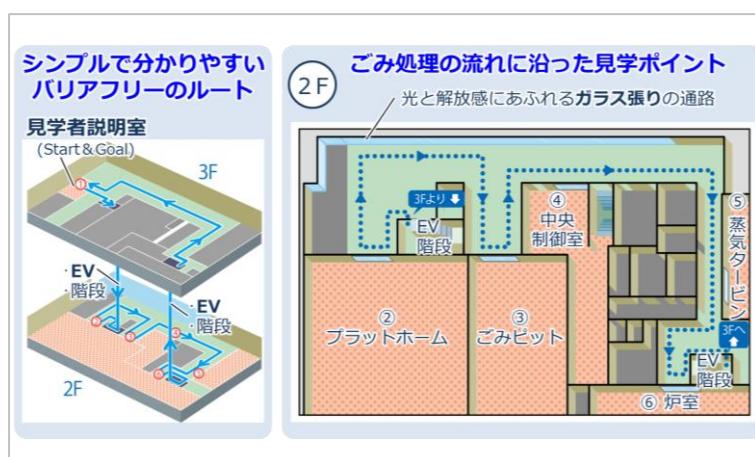
## 4. 維持管理

- 日常の運転や定期的な維持管理で、公害防止値の超過等のトラブルを未然に防ぐため、適切な運転管理マニュアルを作成します。

- 経年劣化に対して、耐久性の高い仕様と部分補修可能な設計により、耐久性と保守・整備性の向上を図り、長期の安定稼働を実現します。

## 5. 環境学習

- 誰でも快適に見学ができる開放的でバリアフリーな空間に、処理の流れに沿って見学ポイントを設け、ごみ処理を理解しやすい見学ルートとします。



- 驚きや楽しい経験を通して興味を喚起するというコンセプトのもと、ごみ処理について楽しく学べる見学設備を用意します。

